

7月から稼働した榛東村のメガソーラー  
誘致成功の経緯と、その効果を調査

総務常任委員長 柳沢 浩一

当委員会は、8月7日に榛東村を視察し、村が誘致に成功したソフトバンク榛東ソーラーパークについて、その経過及び今後の波及効果などを調査した。

調査経過

小さな山間の自治体である榛東村が、なぜ世界に冠たるソフトバンクの事業誘致に成功したのか。

立地と場所

榛東村は、山間地であり、必要とするのは平坦な5万平方メートルの土地で

原動力の一つは、日常の情報収集能力の高さであり、正確な分析と対応であると思われる。さらには執行と議会、村民の迅速な意思統一が誘致に成功した要因である。

考察

ある。その確保は容易ではなかったが、標高1000メートルのゴルフ場跡地に決定した。村民ボランティア、民間企業の支援を受け、整備できたとのことである。

最大出力2400キロワット、パネル数1万枚が整然と並びさまは壮観であり、今後の可能性を信じた。

玉村町でも、自然エネルギー導入への端緒として参考にしたい。電気料金値上げに伴う町民負担を少しでも軽減するためにも、メガソーラー発電について検討が必要ではないかと考える。



敷地面積4万9000㎡のメガソーラー発電所

交通の利便性を生かし、町の活性化を

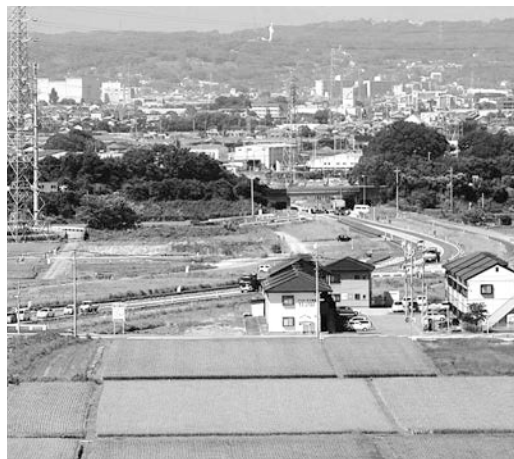
経済建設常任委員長 川端 宏和

当委員会は、8月20日に埼玉県上里町を視察し、上里サービスエリア周辺地区の整備事業の概要について調査した。

調査経過

高崎・玉村スマートインターチェンジ（仮称）が平成25年度にも完成予定の関越自動車道と、平成26年度全線開通予定の東毛広域幹線道路の交差点周辺の開発を話し合うため、「玉村町スマートIC周辺地区まちづくり協議会」が設立された。

町は、交通の利便性を生かして企業誘致を軸に開発を進める考えであり、これを受け、当委員会はインターチェンジ周辺開発の先進地である埼玉県上里町を視察し、整備状況を調査した。上里町では、関越自動車道



高崎・玉村スマートインターチェンジ（仮称）周辺の風景

車道上り車線側に産業団地や農村活性化施設（物産館・農産物直売所等）を建設。下り車線側を産業団地とし、関越自動車道との連結接続方法として上下線にスマートインターチェンジを整備する計画となっている。

考察

玉村町では、スマートインターチェンジ周辺に

「道の駅」や「農産物直売所」などを置いた複合的な集客施設の建設、また、企業誘致に向けて協議を進めているところだが、農振除外・農地転用等、課題も山積している。東毛広域幹線道路や高速道路の建設が進む現状を踏まえ、広域交通基盤を生かし、これらを起爆剤に町の活性化、住民の利便性に向け努力を期待する。

## 運動公園施設とテニスコートの改修を図り、健康振興を

文教福祉常任委員長 備前島久仁子

当委員会は、9月10日に委員会を開催し、総合運動公園と社会体育館の施設概要及び利用状況について調査した。

### 調査経過

玉村町の総合運動公園は、昭和62年に1億2000万円をかけて建設され、現在の年間利用者は7万人前後。陸上競技場、野球場、サッカー場、ソフトボール



総合運動公園のテニスコート

場、テニスコートは有料施設であり、年間120万円ほどの利用料がある。社会体育館は、昭和56年に9億円をかけて建設。アリーナやトレーニングルームの年間利用者は7万人程度で、ピーク時の10万人に比べ減少している。

### 考察

総合運動公園は、25年が経過しており、トイレや管理棟、テニスコートは老朽化が進んでいる。

特にテニスコートは、まだコンクリートのコートであり、膝への負担等を考えると、人工芝への改修が早急に必要であると感じる。

社会体育館も、建設から30年が経過し、トイレやシャワールームなどの水回りは傷みが激しい。施設全体が清潔に保たれ、だれもが快適に気持ちよく利用できるよう、今後とも計画的に整備を進めてほしい。

総合運動公園は指定管理者への移行が進められているが、施設の適切な維持管理とあわせて管理経費の縮減も図るよう要望する。

### 8月2日・8月3日 市町村議会議員特別セミナー

## 今後の地方行政や議員の役割を考える

文教福祉常任委員会  
副委員長 原 幹雄

全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）で行われた市町村議会議員特別セミナーに、8月2日、3日の2日間、4名で参加してきました。

内容は「地方財政の課題と方向性」、「震災復興と地域の役割」、「これからの地方議員のあり方」と「支えあいのまちづくり」の4つでした。

講師は東京大学名誉教授で地方財政に詳しい神野直彦先生、東日本大震災の復興計画に携わった五百旗頭真先生、地方自治がご専門の佐々木信夫先生、宝塚市の中川智子市長と、各テーマの専門家4名から貴重なお話を聞くことができました。

また、2日の夕食時に、セミナー参加者の交流会が行われました。このセミナーには、北は北海道から南は沖縄県まで全国の市町村議会議員が参加しており、全国各地の状況を聞いたり、意見交換をすることができました。



内容は、具体的な事例というよりも、理論的、総合的な内容のものや中央で進められている地方分権・地方財政改革の動向などでした。直接日々の活動に役立つというよりは、考え方、事案等に関する一つの判断基準として意義のあるものであったと思います。

より幅広い視野を持った議員になれるよう、今回のセミナー参加を生かしていきたいと思ひます。